

## 交渉速報(要旨) 申25号「2024年3月ダイヤ改正検証に関する申し入れ」⑤

17. 車内温度保持のため、長岡駅南部構内の留置を冬期・夏期は自動防止(パン上昇のまま)とすること。

●会社回答: 留置手配については、パンタグラフを降下させることを基本としている。

組合→基本は留置手配であることは承知している。お客さま視点からもある。

会社→作業の都合によってはトークバックでパン上昇のままを指示することもある。

組合→1741M入区後は併結して1748M出区となる。わずかな時間でありパン上昇のままで良いと考える。

会社→過去、落雷によるSIV故障があった。また、降雪による架線切断もあるので留置手配となる。

組合→真夏・真冬時の車内温度維持の問題意識からの要望である。

18. 長岡統括センターB3802行路の通勤困難を解消すること。

●会社回答: 今後も可能な限り効率的な乗務行路の作成に努めていく考えである。

組合→前々回からの継続した要求項目である。東京へ帰る社員もいる。交番順序で職場に4泊5日となり帰宅できない。解消していただきたい。

会社→長い行路であると認識している。只見線が全通して列車が遅くなった。解消できずにいる。

組合→帰宅する最終列車も早くなった。前泊・後泊となる。DC組なので乗務可能者も限られている。休養確保の観点からも職場と自宅で寝るのとでは違うと考える。

会社→冷たい言い方であるが在宅休養時間はクリアしている。乗務しやすい行路になるように目指して考えている。

19. 長岡統括センターのEC・DC組に上越線越後川口以南の乗務行路を設定すること。

●会社回答: 今後も可能な限り効率的な乗務行路の作成に努めていく考えである。

組合→技術保持の視点である。ダイヤ改正要求でも申し入れを行っている。乗務線区に偏りがないように作成していただきたい。

会社→課題であると見ている。担当者には話をしている。現行のままのダイヤであれば、越後湯沢まで乗務は可能である。約束はできないが対応していきたい。

20. 次期ダイヤ改正に向け、ダイヤ改正の乗務行路に職場・乗務員の声を反映させる取り組み(ダイヤ改正PT等)を行うこと。

●会社回答: 関係箇所と連携を図り、ダイヤ改正に取り組んでいく考えである。

組合→結論としてはPTをつくっていただきたい。PTでは色んな視点・目線があった。多くの社員の目で見たいべきであると考えます。

会社→職場のニーズ、社員の声を反映できるようにしていきたい。箇所の声が反映できるようにしていきたい。

組合→PTをつくるのか?

会社→一般社員も参画したものをつくってほしい。

組合→社員の声が反映されることが必要である。一般社員も素案を見ることはできるのか?

会社→まだ示せるものはないが、声を反映できるやり方を進めていきたい。業務掲示板等で周知していきたい。

検証を通じて、社員の安全・ゆとりある作業環境のさらなる向上を目指します。